



ご紹介

コレクタブルズ

カプセルコレクション第5弾：

ニューヨークで8点のヴィンテージなレベルソを披露

概要：

- ・ 「コレクタブルズ」展：2月5日から2月23日まで、ニューヨークのブティックにて限定イベントとして、厳選されたコレクションピースを発表および展示
- ・ レベルソにフォーカス：1930年代の希少で人気の高い8モデルを厳選したカプセルコレクション
- ・ 完璧に復元された認定アイテム：ジャガー・ルクルトの修復工房の時計職人が細心の注意を払って復元

ジャガー・ルクルトは、コレクター向けに厳選された1931年から1937年製の希少なレベルソ8点を集めた「コレクタブルズ」カプセルコレクション第5弾を発表します。20世紀におけるウォッチメイキングの「黄金期」に、マニファクチュールが生み出した象徴的なモデルの中でも、レベルソは最も長く愛され、一目でそれとわかるデザインが際立ちます。ニューヨークは、アールデコの建築と様式の名高い伝統を有する都市として、アールデコの精神とデザインバリューを体現する人気の高いこれらの時計を発表するのに特にふさわしい舞台です。

「コレクタブルズ」プログラム

ジャガー・ルクルト独自のプログラム「コレクタブルズ」は、ウォッチメイキングの黄金期に生まれた博物館に展示されるほどの希少なタイムピースを収集、修復し、提供することを目的としています。約200年にわたる創造性を称え、1920年代半ばから1970年代初頭にかけて発表された、デュオプランやレベルソ、ジオフィジック、フューチャーマチック、メモボックス・ポラリスなど17の象徴的なモデルを通してグランドメゾンの伝統を際立たせます。特別なカプセルコレクションとして世界に発表されるこれらのタイムピースは、その物語のこれからを見守るようコレクターたちを誘います。こうした伝統への取り組みは、ジャガー・ルクルトが有する数少ない工房の1つである修復専門の工房の存在によって実現しています。ここでは、10人の熟練時計職人がそれぞれの作品を丹念に修復します。ムーブメントの整備や手作業での部品の再組み立てなど、ストックから歴史的部品を調達しながら、オリジナルの個性や風合いを守ります。それぞれのタイムピースは、修復され、博物館水準の認証を得ることで、ジュウ渓谷で始まった物語を紡ぎ続ける準備が整います。



希少なレベルソ カプセルコレクション

「コレクタブルズ」カプセルコレクション第5弾は、1931年のレベルソ発表後10年間に焦点を当て、不朽のデザインを形作った基盤となる要素を紹介します。

時計づくりの新たな形を定義：1931年に誕生したレベルソは、英領インドでポロをプレーする軍人たちが、ポロ競技の過酷さに耐えられる時計を制作してほしいという課題を提起したことから生まれました。形と機能が見事に融合したこの時計は、独創的なリバーシブルケースとアールデコの洗練されたラインを備え、瞬時に識別することができます。製作当時における現代の精神を体現したレベルソは、スポーツウォッチとしての起源を瞬く間に超え、流行の先駆者たちを魅了。男性用および女性用の多彩なバリエーションが登場しました。誕生から90年間、レベルソはアイデンティティに妥協することなく、スタイルと機構の両面で自らの存在を常に変化させてきました。50種類以上のキャリバーが搭載され、何も描かれていないメタルの裏面はクリエイティブな表現のためのキャンバスとなり、エナメル、エングレービング、ジェムストーンなどで装飾が施されました。独特のタイムレスなデザインは、レベルソの永続的な魅力の大部分を占め、アールデコ様式の象徴としてコレクターから高い評価を得ています。

レベルソの物語を刻んだ8つのヴィンテージタイムピース：

- **1931年製レベルソ**は、当時「未来のダイヤル」と称されたブラックのダイヤルを採用。シルバーのダイヤルが主流だった時代に、大胆な選択でした。レイルロードミニッツトラックと台形インデックスは、現代のレベルソ・トリビュートの美学にインスピレーションを与え、初代レベルソが最新モデルに呼応していることを示しています。
- **ステンレススチールと9Kイエローゴールド**を使用した1936年製の希少なツートーンのレベルソには、レベルソ専用に開発された初の自社製ムーブメント、マニファクチュールキャリバー410が搭載されています。1933年に発表されたこのキャリバーは、6時位置のスモールセコンド表示の先駆けとなりました。当時、ジャガー・ルクルトは自社マニファクチュールキャリバーの開発に着手していましたが、レベルソの構想が生まれた際はタブン社からムーブメントを調達しており、メンズモデルにはキャリバー063と064を、レディースモデルにはキャリバー050と051を採用していました。これはレベルソをできるだけ早く市場に投入するための、決定的でありながらも一時的な解決策でした。歴史的に、ツートーンのケースはゴールドと硬度の高い金属を組み合わせることで耐久性を高めるために考案され、その結果、フルゴールドの作品よりも頑丈な時計が実現しました。
- メンズウォッチの最後を飾る**1937年製レベルソ**は、スモールセコンド表示を備え、グランドメゾン4番目の自社製レベルソムーブメントであるキャリバー413を搭載しています。ブラックのダイヤルにはジャガー・ルクルトの名が刻まれ、1937年にルクルトとジャガーの両メゾンが歴史的な合併を果たしたことを示し、製造年を正確に示す指標となっています。
- レディースモデルは、着用者の違いにすばやくなじむ個性が際立ちます。**1931年製レベルソ・デイム**は**18Kイエローゴールドとホワイトゴールド製**。ホワイトゴールド製クレイドル



にイエローゴールド製ラグとケースを備え、ダイヤルの 4 隅にはミニッツトラックの代わりにコーナーブラケットが配されています。このデザインのディテールは、現代のレベルソ・ワン コレクションにも受け継がれています。

- **ダブルシングネチャーの 1931 年製レベルソ・デイトム**には、加熱処理によって針の色を変化させる伝統的な時計づくりの技法、焼き入れを施したブルー針が配されています。ダイヤルには希少なダブルシングネチャーがあしらわれ、一部の名高い正規取扱店に限り、店名を冠した少数のレベルソ・ウォッチが納入されていたことを示しています。
- このコレクションには、非常に珍しい女性向けモデルである**コルドネ ブレスレットが装着された 1931 年製レベルソ**も含まれています。このタイムピースでは、伝統的にカーフスキンレザーで作られるスリムなロープ状ストラップがクロム素材で製作され、ケースの両側の特徴的なラグから取り付けられています。
- 最後に、幾何学的なブラケットで縁取られ、ブラックまたはブラウンのカーフスキンストラップを備えた **2 種類の 1931 年製レベルソ・デイトム**は、その時代のグラフィック コードを捉え、当時としては驚くほどモダンと評されたブラックのダイヤルを特徴としています。

「コレクタブルズ」プログラムで提供されるすべてのタイムピースには、ジャガー・ルクルトのアーカイブからの抜粋と、大型豪華本『コレクタブルズ』一冊、各モデルのスタイルを引き立てるために選ばれた新しいハンドメイドのカーフレザーストラップが付属します（ただし、メタルブレスレットのモデルを除く）。また、オリジナルのボックスや書類に加え、オリジナルのストラップやブレスレットが含まれることもあります。

ニューヨークにて「コレクタブルズ」カプセルコレクション第 5 弾を開催

「コレクタブルズ」カプセルコレクション第 5 弾は、2026 年 2 月 5 日から 2 月 23 日までニューヨーク市マディソン アベニュー 701 番地にて開催されます。毎日午前 10 時から午後 6 時まで入場可能。

「コレクタブルズ」のタイムピースは、2 月 5 日より全世界でこちらの公式サイトからご購入いただけます (jaeger-lecoultre.com)。また、展覧会期間中はニューヨークのブティックでも特別に販売いたします。書籍『コレクタブルズ』は、jaeger-lecoultre.com およびすべてのジャガー・ルクルトブティックでもご購入することができます。



ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカー™ の中のウォッチメーカーとして知られるマニユファクチュールは、1,400 を超えるキャリバーの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年以上にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。180 種類もの専門技術がひとつ屋根の下に集結したマニユファクチュールは、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。

jaeger-lecoultre.com